

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	骨粗しょう症予防事業					事務事業コード	02806
部名	健康づくり部	課名	健康づくり課	係名	健康推進係	部課コード	040400

1. 事業概要

総合計画コード	2522				
事業年度	H 7 年度	～	H 年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input checked="" type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 健康増進法 朝霞市骨粗しょう症予防対策事業実施要綱	
めざす目的成果	骨量減少のリスクの高い40歳以上の女性が自分の骨密度を確認し、さらに健康自立への意識が高揚し、保健行動を実施に結びつけることができている。				
事業内容	骨量減少の早期発見を目的とした検診と骨粗しょう症予防に関する健康教育、保健指導を行う。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 骨粗しょう症予防検診(民間委託) 骨粗しょう症予防教室				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		骨粗しょう症予防検診 対象①40歳から70歳までの5歳きざみの節目年齢の女性 年10回 ②16歳以上の男女 年2回(骨健康度簡易測定) 骨粗しょう症予防教室 年10回 対象:検診受診者				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]～[ホ]		1,832	1,794	1,746	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金	685	523	643	
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	1,147	1,271	1,103		
	b 人件費		2,931	4,763	4,030	
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)		4,763	6,557	5,776	
投入労働量	常勤職員等(人工)		0.40 人	0.65 人	0.55 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		0 時間	0 時間	0 時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳	需用費 108千円 役務費 393千円 委託料 1,188千円 使用料及び賃借料 57千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活	① 骨粗しょう症予防検診実施回数	回	10	10	10	H 32 年度
			(10)	(—)	(—)	
動	② 骨粗しょう症予防教室実施回数	回	10	10	10	H 32 年度
			(10)	(—)	(—)	
成	① 骨粗しょう症予防検診初回受診者率	%	70	70	70	H 32 年度
			(50)	(—)	(—)	
果	② 骨粗しょう症予防教室受講者数	人	1,000	1,000	1,000	H 32 年度
			(853)	(—)	(—)	

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 市が行う骨粗しょう症予防検診は、健康増進法に位置づけられており、かつ、市民の要望もあることから必要性は高いと考える。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 骨粗しょう症予防教室については、検診受診者すべてに実施する体制とし、多くの方に受講していただいている。今後も、対象者に合わせた実施内容を検討していく。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 様々な立場の方に配慮した。 参加と協働: 健康づくりのきっかけとなるような機会を提供した。 経営的な視点: 最小のコスト、人員で効果をあげるよう、努めた。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input checked="" type="radio"/> I 見直す余地がない	<input type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 節目年齢の対象だけでなく、対象以外の年齢層からも受診の希望が多い。健康まつりにおいては16歳以上の市民全てを対象として骨健康度の測定を実施。市民ニーズの状況を踏まえた事業内容を今後も実施する。		

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)				
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
今後の取組方針	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続				
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期 : H	年度)	
<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大		(実施時期 : H	年度)		
	<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)		
	<input type="checkbox"/> その他	(実施時期 : H	年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	骨粗しょう症予防検診においては、市民ニーズが高く、受診希望者が多い。健康に関するイベントにおいて、簡易測定器にて骨の健康度を測定し、希望するすべての方へに対応することができた。次年度以降も骨粗しょう症予防のきっかけとして実施していく。				